



砂防ボランティア通信

地域ネットワークの強化と情報発信

理事長 田河 勝一

平素は当協会の運営ならびに活動の各般にわたりご理解とご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

お陰様で平成20年度事業も以下に報告のとおり執行、目的を達成できました。とりわけ過年度に引き続き大阪府発注の「土砂災害危険斜面等の緊急診断業務」を受注し、厳しい冬季の契約工期にかかわらず責務を果たすことが出来ました。ご承知のとおり本受託業務は、協会の健全運営、土砂災害防止に係る啓発活動、会員の技術研鑽等に大きく資する事業です。また、主要課題でありました「地域ネットワーク活動」や「会員研修の充実」も着実に歩みを進めることが出来ました。これも一重に関係機関の指導のもと、会員各位の精力的な活動の賜物であり重ねて御礼申し上げます。

さて、ボランティア活動に対する社会的要請は強いものがあり、厳しい経済・社会環境のもとではありますが、会員のモチベーションを維持し活動の充実を図ることが強く求められております。当協会においても組織や体制の強化をはかるなどの課題に取り組みながら、新しい事業を展開して参りたいと思慮いたしております。



○ 活動の課題

1. 砂防・当協会の社会認知の確保
2. 会員の研鑽
3. 新規会員の確保
4. 運営基盤としての資金の確保（運営財務基盤の強化）

○ 新しい事業展開の方向

1. 幅広い会員によるソフト事業として「大阪府内のモニメント的砂防施設の紹介」
2. 他分野のボランティアとの連携・協働として「生駒グリーンベルトの整備」

こうした事業を展開し、当協会の活動が社会的に評価を得るには、住民と最も密接な繋がりを持つ市町村と連携した「地域ネットワーク強化」、またそのための「情報発信の充実」が重要であり昨年度に引き続き取り組んで参ります。今後とも会員相互の情報交換を密にし、円滑な活動が出来ますよう協会運営に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

斜面調査の実績と課題

理事 下清水 則男

大阪府橋下知事の誕生にともなう「財政規律厳守」のもと予算の全面的な見直しがなされ、斜面地調査についても厳しい精査の中、10月に発注され、一般公募でしたが当協会が受注できました。

調査概要は以下のとおりです。

1. H20年度「土砂災害危険斜面等の緊急診断業務」実績

調査区域・箇所数	富田林土木・岸和田土木管内	100箇所
調査期間	H20.11.7～H21.2.27	
調査会員	28名	

調査経緯実績表

(箇所数)

危険箇所 ランク	府下全体	調 査 実 績						
		H 1 4	H 1 5	H 1 6	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0
	896	360	359	128				77
	1,115			162	201	250	102	23
	346							

(: 人家5戸以上 : 人家1～4戸 人家なし)



(調査状況)



(啓発状況)

2. 今後の課題

今年度調査は1日の調査箇所が3～4箇所であったが、危険箇所の調査が多くあり、居住者に対する説明に時間を要した。一日あたりの調査箇所の精査が必要。

冬季調査のため服装が重厚となり、足が滑って事故になる可能性が高くヘルメット安全性靴等の安全対策を行う。

調査には複数の専従者が必要であり調査員の育成を行う。

地域ネットワークの具体的取り組みについて 理事 藤本 光大

1. H20年度の活動実績

土木事務所並びに市町村と連携し土砂災害防止に関する危険箇所パトロールや、出前講座による啓発活動等に別表のスケジュールのとおり取り組みました。いずれの活動も会員の熱心な取り組みで目標が達成されました。

延べ95名の会員が参加いただきありがとうございました。

H20年度活動スケジュール

府土木事務所	池田	茨木	枚方	八尾	富田林	鳳	岸和田
土砂災害対策訓練		6/1 北辰中					6/12 岸和田市
危険箇所パトロール	6/19	6/20	6/23	6/24	6/25	6/26	6/17
砂防施設点検	21/1/28						21/1/23
出前講座		7/10 茨木市小				8/27.10/9 10/25 11/3	7/16 阪南市小
その他の活動			6/2 ~ 6/6 砂防フェア	5/24.10/18 市民の森			
会議、意見交換会等	7/19 21/3/16		10/17	11/19	21/3/10	7/24 21/3/13	4/24.7/24

2. 今後課題

各ブロックの活動にバラツキがあり、ある程度の平準化するため、府とブロック長とが年度当初に調整を図る。

出前講座の充実。

新入会員の積極的参加を呼びかけ、多くの会員が活動するよう努力する。



防災訓練



防災講座

3. H21 年度目標

行政と連携した P R 活動。

防災パトロール、点検、防災訓練等の参加。

出前講座等積極的な活動。

新規会員の加入を図り、地域ネットワークの拡大。

研修会

理事 上畑 憲光

平成 20 年度は当協会主催の砂防研修会を 5 月と 11 月に、災害現場の砂防施設見学会を 10 月に、斜面判定士資格取得のための現場研修会を 3 月に実施しました。

また、大阪府開催の土砂災害防止月間行事、亀の瀬地すべり現地見学会や奈良県で開催された近畿地区土砂災害に関する講習会等に多くの会員が参加し、技術や知見の研鑽に努めました。

1. 砂防施設見学会

今年度の砂防施設見学会は平成 16 年台風 23 号による京都府宮津市滝馬川砂防激甚災害対策事業と、観光バスの水没で知られる舞鶴市由良川災害を対象に実施しました。

会員 35 名、大阪府関係者 9 名計 44 名の参加がありました。

10 月 29 日朝に大阪城公園を出発し、中国道・舞鶴道を経て宮津市滝馬地区に到着。

現地で京都府丹後土木事務所の担当者から被災及び災害復旧状況の説明を受けました。

「台風 23 号に伴う大雨は日雨量 298 ミリ、3 時間で 143 ミリを記録しました。

宮津市を貫流する大手川流域では 2,400 戸を超える家屋浸水被害があり、滝馬地区では大規模な土石流による 4 名の死者・家屋崩壊が発生しました」

見学会当日はすでに砂防ダム等殆ど完成しており、被害発生時の状況は目にすることはできませんでした。しかしながら、大阪でもこれ以上に地形・家屋等危険なところが数多くあり、同様の大雨があるときには非常に警戒しなければならないと実感した次第です。

午後は、舞鶴市志高地区に移動し由良川災害箇所を見学しました。舞鶴市消防本部の担当者による説明や展示によれば高台の舞鶴市加佐分室 1 階も浸水し、観光バスの屋根上 50 センチまで水没した状況がよく理解できました。

バスの乗客は恐ろしい目に合われた中で必死の対応を適切に取られたことに感銘しました。

今回、災害の恐ろしさを身近に感じる事ができ、あわせて災害時の対応の重要性も再認識でき、大変有意義でした。お世話になった京都府・舞鶴市の方々に心からお礼を申し上げます。



2. 砂防研修会

平成20年11月25日(火)臨時総会に引き続き砂防研修会を開催しました。

- 「地域ネットワーク活動の事例紹介」

講師 理事 藤本 光大 氏

- 「最近の土砂災害の対応について」

講師 大阪府ダム砂防課 小林 威文 氏
井本 昌彦 氏

- 「歴史的砂防施設を活かした水辺空間について」
—天野川水辺プラザの整備—

講師 大阪府枚方土木事務所 上成 純 氏

平成19年度関西土木学会技術賞を受賞された事業について、淀川砂防の歴史や取り組みを詳しく紹介していただきました。



特定非営利活動法人 大阪府砂防ボランティア協会

〒541-0047 大阪市中央区淡路町1-6-2 TNJ大阪ビル6F

TEL・FAX 06-6208-1919

E-mail osakasabovo@tea.ocn.ne.jp

<http://www18.ocn.ne.jp/~o-sabo/>

砂防ボランティア募集中

当協会の活動に賛同され、熱意を持って行動できる方で、年齢、性別、経験(砂防に関する知識等)は問いません。

- ○ ○ ● 当協会を支援いただいている企業〔賛助会員〕 ● ○ ○ ○ ○
 (株)浅沼組、(株)ウエスコ、(株)エヌイーエス、応用地質(株)、(株)奥村組、
 (株)修成建設コンサルタント、(株)竹中土木、(株)浪速技研コンサルタント
 日本工営(株)、日本国土開発(株)、(株)ニュージェック (アイワ順)